

出席：黒木、島田、宮崎、幸道、村山、板倉、中村、富本、成相、橋本、涌水、牟田、
河村、田村（横山印刷）

欠席：田中

1. 報告事項

(ア) 小野委員退任、新任として田中敏博先生が就任

2. 進捗（田村さんより）

(ア) 第17巻3号 11月20日発行予定

原著3編、報告2編 特集：尿路感染症 ほぼ入稿済み

(イ) 第18巻1号 締切12月末日、3月20日発行予定

原著2編、報告4編、総説1編入稿済み 特集：児童虐待 著者全員に内諾済み

(ウ) 2014年年次集会推薦論文中、16編が投稿受諾、うち5編入手済み

3. 特集企画、進捗報告、討議

(ア) 特集企画

第18巻2号：近未来の診療～感染症の診断と予防（担当：幸道、牟田）

5～10年後に外来診療を変える可能性を持つ迅速診断、スクリーニング、ワクチンなどについて解説。プライマリケアに役立つ内容で依頼。

第18巻3号：近未来の診療～新しい治療（担当：幸道、牟田、成相）

2号の特集を2回に分けて、抗ウイルス薬、ダウン症や自閉症・ADHDの治療など新しい治療薬について解説。

第19巻1号：思春期診療（担当：中村、橋本、涌水）

神経性食思不振症、ODなど思春期特有の病気、問題を主体として特集を組む。

若年妊娠・STI、校内暴力、性同一性障害などへの対応も検討。

4. 投稿原稿に関する討議

5. 討議、確認事項

(ア) 研究基金の募金者一覧を本誌に掲載（以前はニュースレターに掲載）

(イ) 「編集者への手紙」の欄を活用して、論文に対する意見交換をしてもらう

6. 事務連絡 特になし

7. 今後の予定

(ア) 来年1月18日10時～（医学書院）

(イ) 4月19日午前（大阪、日本小児科学会開催時）